

熊本のタクシーの取組みについて

令和7年1月31日

熊本のタクシーの現状について（概要）

1 運転手不足と高齢化

ドライバー不足の状況の中、様々な取組みによりドライバーの獲得に全力で取り組んでいます。

2 配車アプリの普及と日本版ライドシェア

全国的に普及が進んでおり、熊本でも配車アプリなどの導入と日本版ライドシェアについても運行開始し利便性の向上に努めています。

3 タクシーの安全管理

乗客やドライバーの安全を確保するため、さまざまな対策で安心安全な運行に努めています。

4 新たなサービス

地域の移動手段や高齢化社会への対応、観光客やインバウンド対策、更に深夜の移動などさまざまな移動ニーズへの対応が求められています。

5 環境にやさしい車への転換

電気自動車やハイブリッド車の導入が増えており、二酸化炭素（CO₂）排出抑制により、温暖化対策にも努めています。



1 運転手不足と高齢化

【ドライバー数の推移】



- コロナ以降減少したドライバー数は、**運賃改定**（初乗り630円→700円。2024年4月26日～）、**時間指定予約料金の導入**により待遇改善に繋がり、**新規ドライバーの登録は増加傾向にあります。**
- 若年層や女性応募者が徐々に増え、新規受講者の平均年齢は**熊本市で47.3歳**となっています。（ドライバー平均年齢：65.6歳）

【ドライバー募集事業】

ハローワーク熊本



- ハローワーク熊本や自衛隊退官者向けの仕事説明会を開催しています。
- タクシー協会での求人CMなど、ドライバー採用に繋がる取組を進めています。

自衛隊退職予定者仕事説明会



2 配車アプリの普及と日本版ライドシェア

- タクシーの配車や日本版ライドシェアにも対応したアプリサービスについて、全国的に普及が進んできており、タクシー業界としても更なる利便性の向上に努めています。
- 日本版ライドシェアについては、業界においては全都道府県で導入を目指しており、熊本市内の事業者9社に対して許可がおりています。令和6年11月15日から3社13輦にて運行開始しました。現在は5社20輦で運行しており、その他の事業者も運行開始に向け準備を進めています。



熊本交通圏日本版ライドシェア出発式（熊本市タクシー協会主催） 場所：(株)TaKuRoo本社 日時：令和6年11月15日午前11時

3 タクシーの安全管理①

タクシーは乗客にいつも安心してご利用いただけるよう、さまざまな安全対策・取組みが必要となります。

- 二種免許取得

旅客を運送するのに必須であり、視力や聴力、色覚などの適正検査、学科・技能試験の合格しなければ二種免許の取得はできません。また、定期的な講習でプロドライバーとしてのスキルアップに努めています。

- 緑ナンバー

運送業務を行う事業者が対象で車輛は法律で定められた安全基準を満たす必要があります。更に定期的な日常点検・3か月点検・毎年車検と安全性を維持するため厳しい管理下の基、安心安全な運行に努めています。



講習



車輛点検

3 タクシーの安全管理②

- ドライバー研修と健康管理

熊本県タクシー協会内タクシー運転者登録センターによる「法令・安全・接遇・地理」の新人ドライバーの2日間の講習や交通ルールや安全運転・緊急時の対応などに関する研修の実施や定期的な健康診断による管理のもと、体調不良・疲労での事故が発生しないように努めています。



地域防犯活動ステッカー

- タクシー運行管理

タクシー会社が効率的で安全な運行を確保するために行います。乗客の安全と満足度、会社の経営効率を図るためにも大事であり、運行スケジュール計画やシフト管理、稼働台数の最適化、また、ドライバーの健康状態の把握、疲労運転や事故を防ぐ、安全運転の遵守の教育と事故の対応などサービス品質を高めるのに大変重要な役割を担っています。

- 熊本市ドライブレコーダーを活用した地域防犯活動

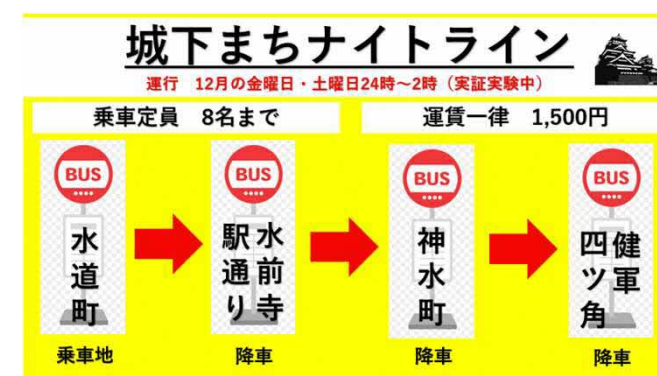
熊本市と熊本県警察と熊本市タクシー協会にてドライブレコーダーを活用した地域の安心・安全の向上に関する協定を締結しました。

4 新たなサービス

- 路線バスなどの路線廃止や縮小に伴い、交通空白地域での乗合タクシーやAIデマンドタクシーなど地域の移動手段として、また、高齢化社会に適した車輛やユニバーサル講習でのソフト面の対応が求められています。
- バス・市電の運行終了後に年末の移動が高まる12月の金曜・土曜深夜帯に限り、ジャンボタクシーを活用した輸送サービスを「城下まちナイトライン」と称し実証実験をおこない、夜遅くまで安心して飲食を楽しめる環境を目指しています。
- 八代市における大型クルーズ船（概ね3,000人を超える客船）寄港時のタクシー不足に対応するため、供給量が不足すると認められた場合に限り、くまモンポート八代を出発地とする営業区域外からのタクシーサービスの提供を行い移動手段の確保に努めると同時に、白タク行為撲滅を目指して注意喚起を図っています。



荒尾市おもやいタクシー



城下町ナイトライン（深夜乗合タクシー）

5 環境にやさしい車への転換

「熊本の豊かな自然を未来へ繋ぐ使命を果たす」

- タクシー業界は国際情勢の煽りを受け、燃料価格高騰に直面しており、持続可能な運用にしていいため、燃費のよい電気自動車やハイブリッド車の導入が増えており、CO2削減にも繋がっています。
- 一方、電気自動車やハイブリッド車の導入には、初期コストや修理費用が高額といった面が課題となっています。



金峰山



日産リーフ（電気自動車）



グリーンスローモビリティ（電気自動車）

地域に貢献できるタクシー業界の実現にむけて

タクシーは「いつでも・だれでも・どこでも」利用できる安心・安全な公共交通機関として、多様化するニーズに対応し生活に欠かせない重要な役割を果たしています。

特に、熊本地震、台風などの災害時やコロナ禍の非常事態宣言の際でも、他の公共交通が運休となる中、公共交通機関の最後の砦として矜持とエッセンシャルな社会インフラの1つとして使命を持ち日々努力しております。

タクシーが社会貢献や安心安全で持続可能な取組みをしていくためにも、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

